

かい  
海

よう  
陽



12月号  
公民館報

海陽町教育委員会  
2017年12月1日発行



海部地区



浅川地区



川東地区



川上地区

## 「人権力」ですみよい町に！ ～29年度分館巡回人権学習会をふりかえって～

社会教育指導員 佐藤和久

10月10日から11月2日にかけ町内30会場で分館巡回人権学習会が行われました。今年の参加者は、役員も含め427人でした。海陽町では人権をテーマとした地域別懇談会が長年継続して行われています。「人権懇談会」という人権の視点で暮らしがやすい町づくりについて話をする機会が地域にあることは、単にコミュニケーーションを図るというだけではなく、社会意識や民主的な意識の高揚を図るという意味でも大変意義のあることだと思いました。

さて、今年は「部落の歴史に学ぶ」ということをテーマに設定しました。部落問題は日本社会の歴史的発展の過程で形づくられ、特定の地域出身であることやそこに住んでいるという理由で、結婚や就

職、その他日常生活の上で差別を受けるという日本固有の人権侵害です。

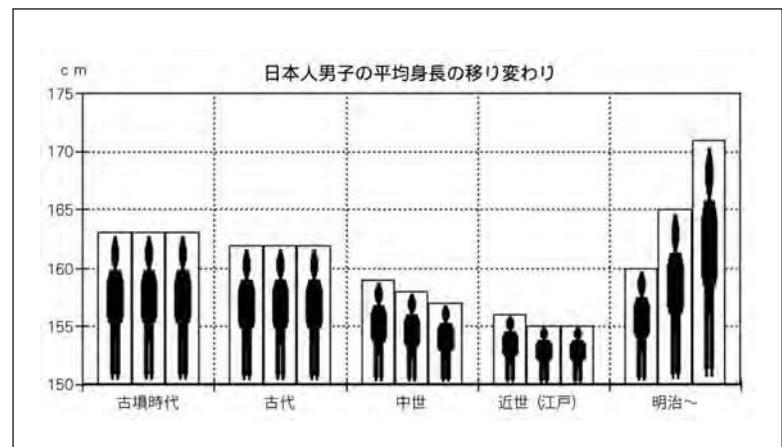
この問題を解決していくためには歴史的な事実を正しく踏まえ、合理的、科学的な見地から対応していくことが必要になります。今回の研修が少しでも社会の歪みや社会の幸福を阻害しているものが何なのかを見つけ出すきっかけになればと考えました。

主な研修内容について簡単に報告させていただきます。

### 部落の歴史と法律

江戸時代の部落差別は『イエ』意識、『ムラ』意識から生まれた差別です。そして、その差別を理由づけしたのが『ケガレ』意識でした。ケガレとは、主に死や血や出産、疫病（えきびょう）によつてもた

れては、ムラはどのような人々を排除したのでしょうか。排除された人には、芸能をする



では、ムラはどのような人々が行なわれたこともあります。民衆の間に仏教や神道の教えが広がりました。「肉を食べるとケガレる」という考え方が浸透したことにより人々は動物性タンパク質の摂取量に大きな影響を受けます。江戸時代は宗門改めが行われたこともあり、民衆の間に仏教や神道の教えが広がりました。「肉を食べるとケガレる」という考え方が浸透したことにより人々は動物性タンパク質を摂らなくなり身長が低下したと考えられます。



川西地区での人権学習会の様子

差別を受けた人たちの中に革の製造に関わる人たちがいました。江戸時代、差別を受けた人々は貧しかつたと考えられていました。しかし、革を作る人たちはそうではなかったようです。革は太鼓、履物などに使われ大変高価なものでした。また、武具などの軍需品としてもなくてはならぬものでした。それゆえ、革の

生産に携わっていた人々は裕福であったと考えられます。それは、文学作品の中の記述や革づくりの村の大幅な人口増などからも推測することができます。

明治になり解放令（明治4年）が出されます。この法律により部落差別はなくなると期待されました。しかし、実際は言葉だけの解放にすぎず、差別を根本的に解消しようとするとする施策が伴つていなかつたため差別はいつそう厳しくなりました。また、革をつくる特権が奪われたことや国の経済政策の失敗なども影響して、部落の人々の生活は段々悪化していきました。

昭和になつて同和対策事業特別措置法などいくつかの法律が出され、生活環境の改善など一定の成果が上がりました。しかしながら、インターネットによる差別文の書き込みなどいまだに問題が多く残つ

ています。そこで、残された問題を解消するため、昨年12月、新たに「部落差別解消推進法」が施行されました。

**DVD 視聴と話し合い**

次に、DVD「皮革から見える部落問題」を見ていただきました。古くから育まれてきた革づくりの技術を今多くの人に伝えている柏葉嘉徳さんの生き方を紹介したものです。柏葉さんは現在、姫路で革づくりのワークショップを通して部落問題や町おこしに取り組まれています。革作り職人としてイギリスに招かれ賞賛された柏葉さん、「イギリスでは革づくりには差別はない」と言い切れます。今も残る多くの差別について淡々と語る柏葉さんの言葉から、日本社会の歪みがはつきりと見えてきたような気がしました。

DVD視聴の後、感想・意見を述べていただきました。

### 「部落差別解消推進法」

2016年12月施行

この法律では、現在でもなお部落差別が存在すること、情報化の進展とともにあって部落差別の現状の変化が生じていることを踏まえ、部落差別は許されないものであるとの認識の下、部落差別の解消を推進し、もって「部落差別のない社会を実現すること」を目的としています。

見は、これから「人権が確立された町づくり」の取り組みに活かしていくかなければならぬと考えています。夜分学習会に足を運んでいた方々、また、会をするにあたつて準備・運営をしていただいた方々、本当にありがとうございました。ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

# 10月1日(日) 共楽運動会

10月1日(日)に秋の大イベントである共楽運動会が町内5地区(宍喰、海部、川東、浅川、川上)でそれぞれ開催されました。当日はたくさんの地域の方々が早朝より会場設営、大会運営に力を注いでくださいました。秋晴れのもと、各地区とも子どもから高齢者までたくさんの方が参加し、地域が一体となった地域色溢れる素晴らしい運動会になりました。







男前やつー







# 2020年 東京オリンピックに向けて 海陽町体協サーフィン部 大会結果

2017年5月～10月



先頃、9月末に宮崎で行われました。VISSLA ISA World Junior Championship(各国18歳以下のクラスが出場する大会)に日本代表として出場しました。安室 丈選手がU16クラスで優勝、金メダルを獲得しました! 同クラスで上山 キアヌ 久里朱選手が3位につけ銅メダル。アロハカップ(男女5人の混合メドレーリレー形式で各選手の合計得点で順位が決まる)においてチームジャパンが優勝!と日本サーフィン史上最高の成績をおさめました。アロハカップの5名の選手のうち、西 優司選手、安室 丈選手、上山 キアヌ久里朱選手の3名が海陽町から選出されチームを勝利に導きました。

日頃、地元の海で練習を重ね、日本国内の試合、そして海外の試合に参戦し、コンペティターとしてのスキルを磨いてきたことが結果につながっています。他の部員も日本各地のアマチュア、プロの試合において素晴らしい成績を残しております。

2020年東京オリンピックに向けてますます注目をあびる選手が在籍する、海陽町体協サーフィン部。これからも応援よろしくお願ひいたします!

\*サーフィンは一試合4人で行う試合の形式上4位までが入賞の対象となります

## <国際派遣大会>



\*ISA VISSLA ISA World Junior Championship 9月23日(土)～10月1日(日) 宮崎県日向市 小倉ヶ浜海岸  
U16クラス 優勝 安室 丈(中央高校2年)／3位 上山 キアヌ 久里朱(未来高校2年)  
アロハカップ チームジャパン 優勝 国別団体 チームジャパン 3位

## <アマチュアの試合> NSA 日本サーフィン連盟主催(日本国内で行われるアマチュア対象の大会の主催団体)

\* MIYAZAKI CUP 7月30日(日) 宮崎県宮崎市木崎浜  
プロアマクラス 2位 キッズボーイズクラス／3位 金沢 呂偉(宍喰中学3年)  
オープンクラス 優勝 金沢 太規(宍喰小学校5年)

\* 伊勢志摩市長杯クリーンビーチカップ 9月3日(日) 三重県志摩市国府の浜  
キッズボーイズクラス 2位 金沢 呂偉

\*SEISHIN CUP 9月10日(日) 神奈川県湯河原町吉浜海岸  
キッズボーイズ 優勝 上山 キアヌ 久里朱

\*しづなみマリンピック2017 9月24日(日) 静岡県静岡市静波海岸  
キッズボーイズクラス 2位 金沢 呂偉

## <プロの試合> JPSA 日本プロサーフィン連盟主催(主に日本国内で行われるプロの大会の主催団体)

\*JPSA 第5戦 ISU 茨城サーフィンクラシックさわかみ杯 10月5日(木)～8日(日) 茨城県大洗町大洗海岸  
ショートボード メンクラス 2位 安室 丈／3位 西 修司

\*JPSA 第6戦 サーフアイランド種子島プロ 9月21日(木)～24日(日) 鹿児島県種子島竹崎海岸  
ショートボード メンクラス 3位 辻 裕次郎

\*JPSA 第7戦 CHIBA ICHINOMIYA PRO 10月12日(木)～15日(日) 千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸  
ショートボード メンクラス 優勝 西 慶司郎／ワイメンクラス 3位 黒川 日菜子

## <プロアマミックスの試合> WSL 世界サーフィン連盟主催(世界各地で行われる試合の主催団体)

\*ICHINOMIYA CHIBA OPEN 5月22日(火)～28日(日) 千葉県一宮町釣ヶ崎海岸  
ワイメンクラス 2位 黒川 日菜子

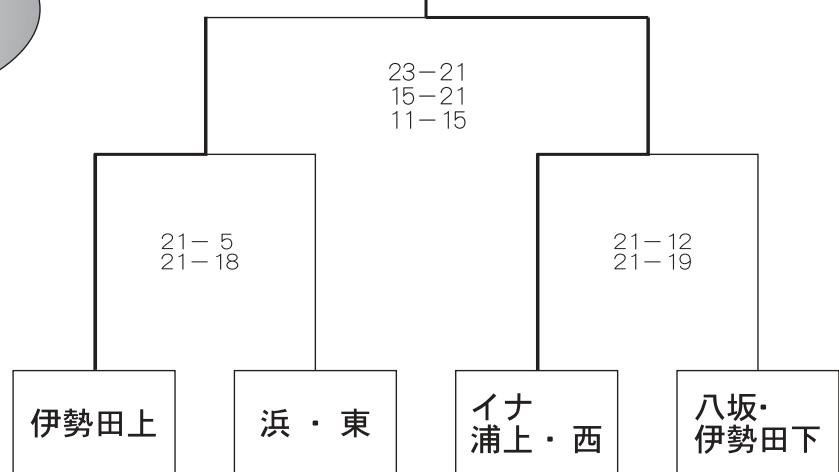
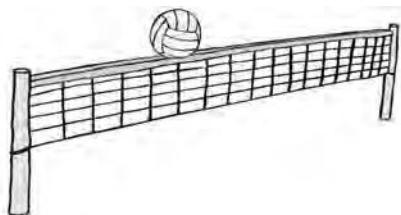
\*南房総プロジェクト 9月16日(土)～17日(日) 千葉県南房総市千歳ポイント  
プロジェクトニアクラス 優勝 安室 丈  
2位 上山 キアヌ 久里朱  
3位 金沢 呂偉

\*伊勢志摩プロジェクト 10月14日(土)～15日(日) 三重県志摩市国府の浜海岸  
プロジェクトニアクラス 2位 西 優司

# 浅川公民館対抗ミックスバレー大会

9月14日(木) 於：浅川町民体育館

優勝…イナ・浦上・西  
準優勝…伊勢田上



# 川上公民館グラウンドゴルフ大会

9月24日(日) 於：若松グラウンドゴルフ場

グラウンドゴルフを通じて互いの交流と親睦を図ることを目的に川上公民館グラウンドゴルフ大会が行われました。今年は、台風の接近もあり翌週の24日に延期し開催されました。

参加者の皆さんには日頃の練習の成果を発揮し、ベストを尽くしていました。非常に暑い中ではありましたが、グラウンドには笑い声とボールを打つ音が響いていました。



## 海部高校生制作

## ふるさと納税返礼品PR動画

海陽町のふるさと納税の返礼品のPR動画を海部高校情報ビジネス科2年生が制作しました。

講師を招き指導してもらいながら生徒自らが生産者を取材し、動画を編集する作業まで行いました。

動画の構成を話し合っているときには不安もみえましたが、いざ取材となるとみんな真剣そのもので、ディレクターやカメラマンなど自分の役割を果たし積極的に動く様子が印象的でした。

保護者らでつくる住民団体「海陽町人材育成実行委員会」が企画し、貴重な体験が実現できました。



ふるさとチョイスTOP画面→地域でチョイス→徳島県の自治体→海陽町

URL : <https://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/36388>



## 『のらねこハイジ』

10月10日(火)、町内3小学校の全校児童が海南文化館で行われた劇団如月舎(きさらぎしゃ)による児童演劇「のらねこハイジ」を鑑賞しました。この事業は小学校及び特別支援学校の児童に対し、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供し、芸術文化に親しませるとともに児童の情緒豊かな感性を育むことを目的として開催しています。各小学校の児童の皆さんの中から3名の感想文をご紹介します。



穴喰小学校6年生 戎谷 凜

私は、「のらねこハイジ」を見てすごいなと思いました。声を大きくしたり小さくしたりしているので工夫しているなと思ったし他にも動作などダンスを色々な部分でおどっていたので面白かったです。ねこは、ねずみを取るけど、ハイジは取れなくてねずみは、ハイジのことをバカにしていたので少し悲しかったです。ハイジは、とても優しいねこだなと心の中で思いました。最後には、ねずみを取ることが出来たのでよかったです。ダンスもきれがあり如月舎のみなさんは、本当にすごいと思ったのでまた見たいです。

如月舎のみなさん本当にありがとうございました。

海南小学校6年生 田窪 飛奈

私は、「のらねこハイジ」というげきを見て、ハイジがどんどん成長していく所がすごく心に残りました。それと、マイクなしで、とっても高い声を出している所がとてもびっくりしました。ハイジがネズミのチュウコのことをしゃったときも、とってもドキドキワクワクしながら見ていました。ハイジが、バアバやドラキチなどの仲間たちと色々なことを学んでハイジが、とってもすてきなのらねこになっていく所がすごくすごかったです。

海部小学校6年生 近藤 拓実

最初は、ハイジはいじめられたりばかりしていたけど、どんどんせいちようしていくストーリーがおもしろかった。黄色い土台のようなものを動かすときの動きがおもしろかった。個性豊かなキャラがてきて、おもしろかった。

# 青少年非行防止 キャンペーンパレード

防ごう！少年非行  
「地域の子どもは地域で守り育てる」  
牟岐町青少年健全育成センター

10月11日(水)、海陽町青少年育成海陽町民会議主催の非行防止パレードを実施しました。毎年、宍喰地区の小学生、中学生が、地域の皆さんと、子ども達の健全育成・非行防止を啓発しているものです。宍喰庁舎をスタートし、横断幕を掲げて宍喰町内を歩行しました。



# 古文書の読み方講座

中世文書や近世文書の読み方とともに、背景にある郷土の歴史も学べます。

【対象】  
一般 向け

初めての方  
大歓迎!!

**第1回 1月13日（土）13:30～15:30**

（講師）徳島県立文書館 館長 徳野 隆 氏

**第2回 1月27日（土）13:30～15:30**

（講師）前徳島県立文書館 館長 山下 知之 氏

**第3回 2月10日（土）13:30～15:30**

（講師）徳島県立文書館 課長補佐 金原 祐樹 氏

**第4回 2月24日（土）13:30～15:30**

（講師）徳島の古文書を読む会 会員 戸田真理子 氏

（受講料）無 料  
 （定 員）40名  
 （場 所）海南文化館大会議室

\*申し込みの必要はありません。  
 当日会場へお越しください。

【主催・お問い合わせ先】

阿波海南文化村 海陽町立博物館

0884-73-4080  
 海陽町四方原字杉谷 73  
 開館時間：9:00～17:00  
 休館日：月曜（祝日の場合その翌日）

## 穴喰俳句 十月例会より

- 塗り絵帳残りわずかに水の秋 間戸谷恵子  
 柿の実や長寿の村を遠く見て 元木朱子  
 桃を剥く僕もまた傷つきながら 新井駿也  
 計られてギイト鳴きたる伊勢エビよ 長岡達江  
 遠い道迷わず歩く曼珠沙華 山本球子  
 八朔や雛を飾るわが町は 川野佳代  
 秋初め形見に貰い杖一つ 梅田千恵子  
 いつだつて走つて転んで大花野 外山千佳  
 農日記たしかめてより種を蒔く 寺崎照代  
 枯蠍威嚇する目も枯れており 新井久実  
 坐りこみ草引く夫や秋日和 朝賀ます美  
 錆叩眠れぬままの夜明かな 樽井みつ子  
 みかん剥く香り残りて指の先 陸田ヨネ子  
 ミサイルの話秋刀魚を食べながら 木下野生

## 海南俳句

- 敬老会名前を付けた杖並ぶ 吉田保則  
 彼岸花やさしき兄の墓碑に咲く 岳山祐弘  
 かな文字の墨の香りやちちら鳴く 谷口洋根子  
 空蝉の心野山をかけめぐり 森口豊子  
 曼珠沙華の明るさにをり父祖の墓 廣瀬克子  
 老い先を思い巡らす初秋かな 新居利之  
 小望月彦根城背に出でにけり 北川花  
 おままとこと葉っぱの上に赤まんま 山本達平  
 鯉焼くや少し話が長引きて 田中たち子  
 曼珠沙華残して畦を刈りにけり 鍛冶崎郁夫  
 うろこ雲埋もれ木の舎まで時の鐘 谷律子  
 あぜ道も黄金色の穂占領す 平道はつ子  
 槇新芽ていねいに剪る秋の朝 叶岡陽二  
 大根蒔く会話するかに鴉鳴く 橋本幸子

## 海部ひまわり俳句

- 今日解党明日は新党秋の風 津田一  
 九十の農夫田に在り鰯雲 西本公司明  
 つるべおとし独りぐらしに時間割 榊原礼子  
 姿すし野菊をそえて片えくぼ 南歌子  
 お招きのコーヒータイム秋の空 松田嘉子  
 紅葉を写す川面やもやい船 元木美枝子  
 空蝉のすがりたる葉も落ちにけり 佐藤美代子  
 廃校の運動場に虫時雨 宍戸道子  
 秋知るや木の葉一枚落ちにけり 岡育代  
 秋うらら隣の猫も遊び来る 川野照美  
 菜園のおおかた倒し野分去る 福田敦子  
 いま町を汽車過ぎる音虫の闇 佐藤薦子  
 リンリンと寝つけぬ夜の虫の声 宍戸保夫

## 海南短歌会

すぐと立ち銀に輝く穂芒の揺らぐ向こうに月の満ちたり

桑村未貴子

彼岸花に負けじと群咲く花華(はないろ)の星の降りたるごとき耀い

細野綾子

満月の光届かぬ草むらに虫のコーラスひとりわ高し

蛭子美恵子

夕まぐれそぞろ身にしむ秋風に人恋しくて母の里へと

大久保スエ子

まつすぐに身を伸ばしいるかたつむり殻に潜める思いは知らず

土谷公代

## 穴喰短歌会

繭となる蚕の透ける様に似て夕映えの中もみじ葉鎮む

大黒千枝美

秋深きうす雲広き天空にしじまの野路の母子草萌ゆ

石井町子

十五夜を眺めて遠い友しのぶ今は何処に美空は知るや

桑野亀乃

過ぎ去りし月日の重み受けとめて亡き夫しのぶ深みゆく秋

舛谷恂子

月日経てわれ得しことの多かりとおもい廻れば波音はるか

山崎千栄子

七草に母手作りのおはぎ添え明月待ちし杳き日のこと

三野みよ子

狹庭辺の小さき池に秋空を写して雲の流れゆくなり

田井晴代

## 網代川柳九月句会より

頼み事忘れて孫に笑われる

太田一洋

信頼が結ぶ夫婦の家平和

福岡純山

頼るよりしつかりせよと言ひきかせ

高木柳月

病院でアクビ出る頃名を呼ばれ

石垣小道

金運は大吉なのに空回り

黒岩一平

美しい夜景悲しい灯もあるう

風呂谷いづみ

美しい夢が汚れた手で実る

井上可楽



トピック

## 初日の出スポット

～初日の出を見に行こう～



写真：岡田 齊氏提供

松原海岸 だるま朝日

水平線や地平線からゆっくりと姿を現す日の出。朝日は毎日昇るものだが、冷え込みがきつく快晴の日には神秘的な「だるま朝日」が見られます。「だるま朝日」は冬限定の現象で、一部では幸運の象徴とも言われています。

海陽町は太平洋に面しているため、水平線ならどこからでも日の出を望むことができる、恵まれた日の出スポットの町でもあります。初日の出に「だるま朝日」を見ることができれば、今年は一年幸運に恵まれることでしょう。